

J R 東海労申第12号
2025年10月30日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 丹羽 俊介 殿

J R 東海労働組合
中央執行委員長 淵上 利和

リニア中央新幹線第1首都圏トンネル掘進付近の道路隆起に関する申し入れ

マスコミ報道によると、10月28日午前7時頃、東京都品川区西品川1丁目1番における、リニア中央新幹線第1首都圏トンネル（37キロ）の北品川工区（9.2キロ）付近で区道の一部が隆起しているのが発見され、通報を受けたJ R 東海が地下80メートルでのシールドマシン掘進工事を同日中断し、原因を調べていると報道された。昨年の10月にも東京都町田市小野路町でも、シールドマシン掘削工事による湧水と気泡噴出や掘削工事直上での多数の道路亀裂が発生した。岐阜県瑞浪市で地盤沈下も発生している。

繰り返されるシールドマシン掘削工事が原因と思われる今回の道路隆起について看過することはできない。したがって、以下の通り申し入れるので、早急に団体交渉を開催し、誠意ある回答を行うこと。

記

1. 直ちにリニア中央新幹線の一切の建設工事を中止すること。特に、今回の事象の原因と万全な対策が確立するまで、リニア中央新幹線建設に関わる全工区の掘進工事及びシールドマシンによる掘削工事は行わないこと。
2. 今回の事象に関する会社の見解を明らかにすること。
3. 今回の事象の調査内容・原因を明らかにすること。
4. 今回の事象の対策を明らかにすること。
5. 不安を抱く地域住民に対して、どのように対応するのか、対応したのか明らかにすること。

以上